

## ベルギーニュース

## 失業者増加

ベルギーの失業率は1954年1.2%であったが、60年たった現在8.7%と60年間で267%増加した。国家雇用庁(ONEM / RVA)の調査によると、一番失業率が多いのは50歳以上の労働者で、1974年の石油危機、1980年代のブリュッセルの景気後退、2008年の金融危機が主な原因と発表した。

## 大きな悲しみ

3/22、ザベンテム空港と地下鉄マルベーク駅で起こった爆弾テロ事件の被害者への黙禱に、翌日水曜日の12時に数百人の人々がブリュッセル市証券取引所前広場に集まり、国旗やろうそく、花束で広場は祈禱の地となった。黙禱後、「ベルギー万歳！」との掛け声に、参加者が拍手喝采し、被害者およびベルギーを勇気づけた。パリの市長も黙禱に参加し、欧州連合本部Berlaymontでも国王、王妃、首相、フランス首相など要人が黙禱を行い、災害地に献花した。この事件で、計32人が死亡、300人以上が怪我をした。日本人2名も被害に遭っている。



## 献血率増加

3/22のテロ事件以来、赤十字に献血をする人が増え、通常は毎日40人程度の献血者であったが、3/24、11時30分に登録を終了した献血希望者の数は120人を超え、赤十字担当者は対応に追われていた。採血そのものは12分程度で終わるが、登録には少々時間がかかる。しかし、テロ事件などで被害にあった人たちは血液が必要なので、是非献血に協力して欲しいと担当者は付け加えた。



## 誕生おめでとう

3/22、Pairi Daiza公園でサイのオスの赤ちゃんセテンバ(Sethemba、アフリカズールー族語で希望の意)が誕生した。公園での出産としては珍しく、人的介入もなく担当職員の前で自然な誕生となった。生まれたばかりのセテンバ君は、母親に助けられながら立ち上がり、すぐに母乳を得た。一般的に生後間もない動物はか弱いですが、この親子は共に元気で、母親は始めての子どもにたくさんの愛情を降り注いだ。このセテンバ君の両親EllieとPamirは、2012年に象に次ぐ巨大動物としてPairi Daiza公園にやって来た。アフリカの白サイは体が大きく、オスは4m、3,600kgにもなる。



## 勇敢なジャーナリスト

3/26、RTBF(ベルギーフランス語圏ラジオ・テレビ局)の経済ジャーナリストMichel Visart氏は、19時半のニュースで、地下鉄マルベークの爆弾事件で娘を失ったとインタビューに答えた。当日、会社から娘のロリアヌさんが出社しないと連絡があり、彼女に連絡を取ったが返事がなく大変心配した。警察から娘は被害者の中に居るが、生存しているのが亡くなっているかの知らせはすぐにももらえず、家族、知人はいたたまれない時間を過ごした。娘の死の知らせにも関わらずVisart氏は、ジャーナリストは排他の壁を作り苦しみを養って、それは自分たちを壁にぶち当てるだけだ。悲しみに暮れるのではなく、世界の人たちは皆違い、お互いを尊重し寛容する必要がある、愛情を持って世界中のロリアヌのために立ち向かうべきだと語った。

## 空港完全再開はいつ？

3/26、ザベンテム空港の一部再開に向け、3/22の爆弾テロ事件後はじめて運営可能かどうかのテストを行い、消防署と空港管理局(DGTA)が再開可能との指示を出したが、空港を管轄する警察が現状のセキュリティでは危険が多過ぎるとストライキを起こし、空港再開は見送られた。警察側は、空港チェックインホールですべての人と荷物に対し、セキュリティチェックをするべきだとしている。その約2週間後の日曜日に厳重な警備の下空港が再開し、ベルギーの画家マグリットの作品を模様にした機体SN1901便が飛び立った。ところが、その後一部の管制官たちが、定年の延長と空港のセキュリティ不足に抗議してストライキを起こし、ザベンテム空港で再び一部の便が休航となった。



## 家族にも被害

パリのテロ事件の容疑者サラ・アブデスラムとブライム・アブデスラムの兄、モハメッド・アブデスラムさんは、モーレンベーク区役所の外国人用窓口に勤務していたが、パリテロ事件の翌日から病気を理由に欠勤していた。区役所は彼の働きに対し何の不満もなかったが、職員の投票により4月2週目に解雇を決定した。モハメッドさんは、区役所の元職員として違約金が支払われるであろうが、今後の生活には暗い影を残している。

## ベルギーのために

3/22に起こったテロ事件の被害者に黙禱するため3/27に予定されていた追悼行進は、セキュリティ対策不足のためキャンセルとなっていたが、4/17に実行された。ブリュッセル北駅とモーレンベーク区サン・ジョン・パティスト広場から160余りの団体、7,000人以上の行進が始まり、両グループは中心地Antoine Dansaert通り辺りで合流し、証券取引所前で献花、16時半ごろFontainas広場で解散した。